

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 地域包括ケア課
 担当名: 地域包括ケア担当
 内線: 3256

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B13	コバトンお達者倶楽部支援事業		一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	介護保険制度推進事業費	
事業期間	平成25年度～平成29年度	根拠法令	介護保険法第5条第2項		戦略項目	02 介護の安心		
					分野施策	010201 高齢者が安心して暮らせる社会づくり		
1 事業の概要 高齢者の「閉じこもり」は、認知症や運動機能障害の発生を高める要因となっている。 そこで、高齢者が目標を持って気軽に外出することに取り組める施策を官民が一体となって展開する。 (1) コバトンお達者倶楽部支援事業 △3,400千円 経費節減及びホームページ運用・保守委託料の契約差金発生に伴う減額			5 事業説明 (1) 事業内容 ア コバトンお達者倶楽部支援事業 (補正額: △3,400千円) 1,569千円 高齢者が、週一回程度を目標に地域包括支援センターや登録店に出向き、持参したカードにスタンプを押印してもらう。3か月間でスタンプが10個貯まったら、登録店等から特典が提供される。 カード、広報資料などは県が作成し、登録店の募集は県と市町村が協力して行う。 ・登録店の目標数 4,000か所 イ コバトンお達者倶楽部声掛け隊支援事業 281千円 登録店の従業員が「コバトンお達者倶楽部声掛け隊」になり、「声掛け隊心得」により高齢者の特性などを習得し、この事業の制度周知などを行う。 県は、リーフレットやバッジを作成する。 (2) 事業計画 延べ参加者目標数 平成28年度 平成29年度 16.5万人 20万人 (3) 事業効果 高齢者: 週1回程度の外出が習慣づけられ、気軽に介護予防・健康づくりを実践できる。 登録店: 購買力の向上、商店街の活性化。 市町村: 介護予防事業参加率(高齢者人口に対する延べ参加者数)大幅向上。 地域包括支援センター: 地域のネットワーク作り、機能強化、認知度の向上、地域の高齢者の状態把握。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 企業が登録店になりスタンプの押印や声掛け、特典を提供。 市町村及び地域包括支援センターによる事業の推進、広報活動。 (5) 補正予算の概要 コバトンお達者倶楽部支援事業: 各種資材の作成に係る経費の節減及びホームページ運用・保守業務委託契約差金発生に伴う減額。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△3,400						△3,400	1,850
現計額	5,250						5,250	